

NSD研究会(東京開催)

「在住外国人との対話デザイン手法・検討ワークショップ」

◆趣旨・目的

本RF(研究グループ)は、移民問題におけるコンフリクト軽減に向け在住外国人との「対話コンポーネンツ」に取り組んでいます。その際の中核をなす対話モデル(NSD)は、異なるテーマ・分野で繰り返し実践することによりはじめて応用力をもちます。そこで今回、①主として「哲学教育」の分野で対話的手法を用いて活動する研究者、および②「福祉ものづくり」の分野で障害者などと対話的实践を行っている研究者とその指導学生、の協力を得てNSD対話セッションを実施します。加えてNSDに関する理論的・実践的ないくつかの提案(提題)を行い、それを踏まえた反省・振り返りの成果を在住外国人との対話デザインにフィードバックすることを目指します。

◆ 日時:2011年3月1日(火)～3月2日(水)

◆ 場所:立正大学大崎キャンパス11号館会議室

(プログラム)

◆3/1 NSDを実践する:テーマ「人を承認する(認める)こと」

10:00-12:00 NSDの説明、例を出す

13:00-15:00 例を選び、記述する

15:30-17:30 判断を確認し、原則を推論する

◆3/2 NSDを再考する

10:00-12:00 原則の推論から、答えを出す

13:00-17:00 対話コンポーネンツについてのワークショップ

13:00-13:30 NSDを反省する

13:30-14:00 発表「医療をめぐるNSDの実践研究」(會澤久仁子/熊本大学)

14:00-14:30 発表「難病を生きる人々と創造するサービスラーニング」(田坂さつき/立正大学)

14:30-15:15 発表(中岡成文、本間直樹、高山佳子/大阪大学)

15:15-15:30 休憩

15:30-17:00 ディスカッション

特定質問者/寺田俊郎(上智大学)、堀江剛(広島大学)

◆ 問い合わせ先:臨床哲学研究室(中岡成文)

(電話)06-6850-5662 (メール):nana@let.osaka-u.ac.jp

◆ 主催:大阪大学GCOEプログラム「コンフリクトの人文科学」RF「コンフリクトと価値」

◆ 共催:大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室

＜飛行機または新幹線および宿泊ホテルを利用される皆様へ＞

◆「出張を証明する書類」の提出につきまして(重要！)

旅費交通費の支給にあたり出張を証明する書類が必要となりますので、以下の交通費(飛行機または新幹線を利用される方)および宿泊費(宿泊される方)を証明する書類を必ず提出してください。交通費は、現物の切符でないと出張費が支給されません。(紛失された場合、自己負担していただくこととなります)。必ず忘れずに切符を持ち帰り提出して下さい。

- ① 飛行機を利用される場合:往復の航空券の半券を提出してください。
(帰りの半券は後日郵送くださいますようお願い致します。)
- ② 新幹線を利用される場合:新幹線の往復の切符(現物)
往復の切符(現物)は、「現物の切符を自動改札機を通さずに、係員がいるところを通して切符をそのまま手元に残し」提出してください。
JRの係員に説明すれば便宜を計らってくれます。
(帰りの切符は後日郵送くださいますようお願い致します。)
- ③ 宿泊ホテルの領収書:清算の際必ずホテルで領収書をもらい提出してください。
宿泊証明書などでは代替できません。

◆ワークショップ2日目に回収できる書類をすべてこちらで回収させていただきます。
(飛行機の搭乗券の半券、新幹線の切符(往路分)、宿泊者全員のホテルの領収書)

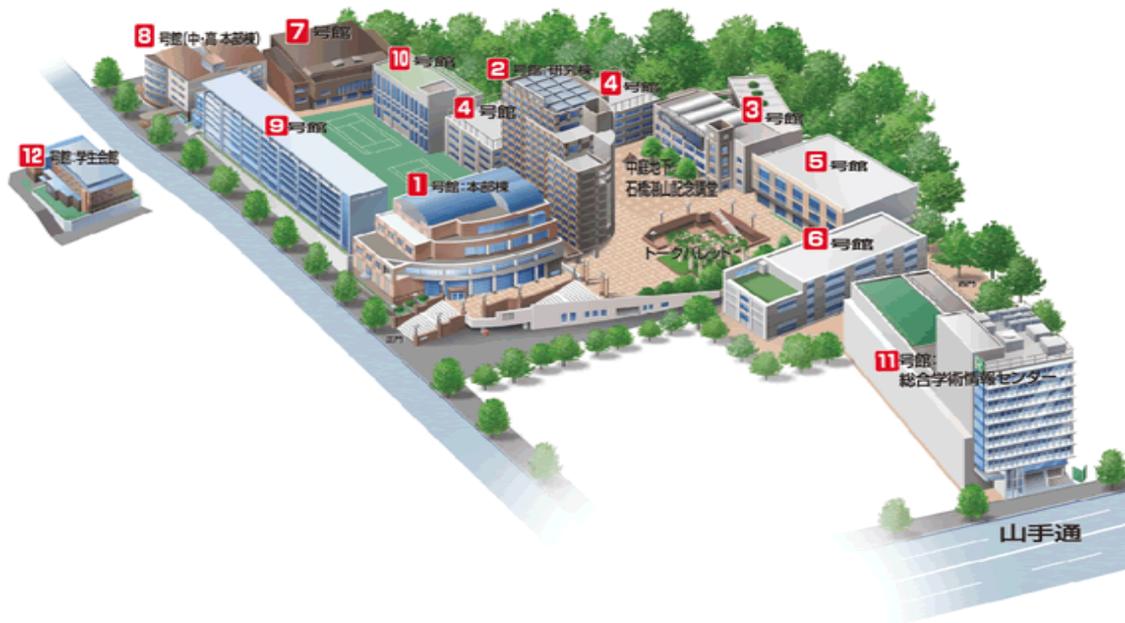
以上、どうぞよろしくお願い申し上げます。

中岡成文、高山佳子(GCOEリサーチ・アシスタント)

◆ 地図

立正大学大崎キャンパス住所:〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

キャンパスマップ:http://www.ris.ac.jp/guidance/cam_guide/osaki_map.html



交通アクセス:http://www.ris.ac.jp/guidance/cam_guide/osaki_map.html



JR 五反田駅または大崎駅下車徒歩5分、大崎広小路駅から徒歩1分